



ほほえみだより

令和7年5月号



松伏町学校給食センター TEL992-2161 FAX992-3192 (277号)

新学期が始まってから1カ月、新緑の美しいさわやかな季節となりました。学校給食では、日本の四季を感じてもらうため、季節ごとの行事食を取り入れています。行事食を食べることは、日本の伝統文化を知るきっかけになります。ご家庭の食事でも行事食を取り入れてみてはいかがでしょうか。

5月5日は、何の日？

こどもの日



1948年に「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」ための国民の祝日、と決められました。

端午の節句



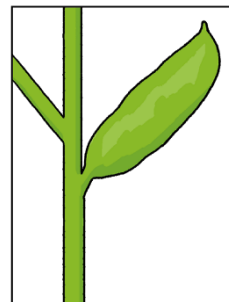
こどもの日が決められる前から、端午の節句がありました。

「端午」とは、中国で「月初めの午の日」という意味があり、もともとは悪い日でした。そこで、災いをはらうために、菖蒲湯に入り、かしわもちやちまきを食べて、男の子の健やかな成長と幸せを願います。「菖蒲」が「尚武・勝負」に通ずることから、江戸時代に男の子の節句となりました。



そら まめ
空 豆

20日に、小学生がさやむきをして
くれた「空豆」が給食に出ます。



空に向かって実がなることから、「空豆」と名付けられたと言われています。

また、さが蚕に似ていることから「蚕豆」と書いて、「そらまめ」と読むこともあります。

旬の食べ物は栄養がいっぱいです。

給食に「彩のきずな」を提供して下さる

まつぶしまちのうかしょうかい
松伏町の農家さんを紹介します！！



柴田さん(魚沼)

お米の中でも「彩のきずな」や「コシヒカリ」を作っています。たくさん食べてくださいね！

